地方独立行政法人堺市立病院機構
令和２年度の業務実績に関する評価結果報告書

令和３年８月

堺　　市

≪ 目　　次 ≫

はじめに ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

第１項　全体評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

第２項　項目別評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（Ⅰ）大項目評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
第１　市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
第２　業務運営の改善及び効率化に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
第３　財務内容の改善に関する事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
第４　その他業務運営に関する重要事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

（Ⅱ）小項目評価 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
第１　市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
１　市立病院として担うべき医療 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３
２　生活習慣病への対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２４
３　患者に寄り添った信頼される医療の提供 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３３
４　地域への貢献 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４２
第２　業務運営の改善及び効率化に関する事項
１　効率的・効果的な業務運営 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４９
第３　財務内容の改善に関する事項
１　安定的な経営の維持 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５７
第４　その他業務運営に関する重要事項
１　環境にやさしい病院運営 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６２
第５　予算（人件費の見積もりを含む。）、収支計画及び資金計画 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６４

《参考資料》
・地方独立行政法人堺市立病院機構　業務実績評価等の基本方針 ・・・・・・・・・・・・・・・ ６７
・地方独立行政法人堺市立病院機構　年度評価実施要領 ・・・・・・・・・・・・・・・ ６９
・小項目評価における目標指標の取り扱い ・・・・・・・・・・・・・・・ ７１

はじめに

堺市長は、地方独立行政法人法第 28 条の規定に基づき、地方独立行政法人堺市立病院機構の令和 2 年度における業務実績の全体について総合的に評価を実施した。

評価に際しては、堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会条例第 2 条第 1 項第 2 号の規定に基づき、堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会の意見を踏まえ、平成 30 年 4 月 1 日に決定した「地方独立行政法人堺市立病院機構　業務実績評価等の基本方針」及び「地方独立行政法人堺市立病院機構　年度評価実施要領」に基づき評価を行った。

堺市地方独立行政法人堺市立病院機構評価委員会　　委員名簿

氏　　名	役職名等
北村　愛子	大阪府立大学　急性看護学教授
嶋津　岳士	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター　総長
田中　雅人	大阪ガス株式会社　大阪・奈良・和歌山地区統括支配人
西川　正治	一般社団法人堺市医師会　会長
原　繭子	公認会計士・税理士・公認不正検査士

地方独立行政法人堺市立病院機構令和２年度の業務実績に関する評価結果

第１項　全体評価

１．評価結果

地方独立行政法人堺市立病院機構における令和２年度の全体評価の結果は、

『全体として中期計画の達成に向けて計画どおり順調に進捗している』　である。

２．判断理由及び考慮した事項

令和２年１月の新型コロナウイルス感染症の国内感染の確認から、現在もなお、感染症対策を必要とする厳しい状況が続いている。

そのような状況の中、堺市立総合医療センターにおいては、令和２年２月の早い段階から新型コロナウイルス感染症への対応を行ってきた。対応に当たっては行政と連携し、市内唯一の三次救急医療機関としての役割を果たしながら、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた体制を組むことで受入れを行い、また、医療機関等への医療従事者の派遣による支援、地域住民に向けた情報発信による感染対策の啓発など、治療と予防の両面から対応を行ってきた。

令和２年度の業務実績に関する評価に当たっては、令和２年度計画が新型コロナウイルス感染症の拡大前に策定されたものであり、その実績は有事におけるものであることを考慮の上行った。

令和２年度の業務実績に関する評価については、4ページ以降に示すように、第１から第４までの４つの大項目について、全て「評価Ａ（中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる）」と判断した。この結果に加え、次に記載の事項及び重点ウエイト小項目３つのうち２つの項目が評価5、残り１項目が評価４を取得していることを考慮し全体評価を行った。

①　救急医療について、大阪府からの要請に応じ、感染拡大の影響により搬送先選定が困難となった救急患者を一時的に受入れ、診察、検査の後適切な搬送先に振り分けるトリアージ病院として重要な役割を果たした。また、コロナ禍においても救急搬送応需率は昨年比▲0.7%の77.9%と高い水準を維持している。さらに、昨年度に引き続き厚生労働省による救命救急センター充実段階評価において、最高ランクのＳ評価を獲得している。

なお、救急医療の項目（第1-1-(1)）は重点ウエイト小項目となっており、その評価を５としている。

②　新型コロナウイルス感染症への対応として、陽性患者の入院受入れ、発熱外来や地域外来検査センターの開設に加え、医療従事者の派遣等による地域医療に対する支援、メディアや会議での発言、動画配信やDVDの配布による地域への正しい情報の発信による感染対策の啓発など、治療と予防の両面から取り組みを行ってきた。

③　経営状況について、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、外来、入院ともに患者数は減少しているものの、患者一人当たり単価はそれぞれ対前年比110.2%、119.6%となっている。結果、入院・外来収益については、昨年比約9.3億円の減収となっているが、後発医薬品への切り替えの推進、診療報酬請求に伴う査定率の減少や他院との算定数比較等による経費削減への取り組みに加え、新型コロナウイルス感染症の対応に関連した各種補助金の交付を受けることができた結果、当期総利益は約27.1億円　経常収支比率112.9%と年度計画目標を大幅に上回っている。

なお、財務に関する項目（第3-1）は重点ウエイト小項目となっており、その評価を５としている。

④　人材育成や意思決定プロセスについて話し合うワーキンググループの立ち上げや、職種間で不均衡感のない人事・労務制度の構築に向けた議論、ボトムアップを意識した意見交換会の開催など、自律性と透明性、柔軟性の高い組織運営に努めている。

３．項目別評価の集計結果

大項目		評価項目数	小項目評価数					大項目評価
			5	4	3	2	1	
第１	市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	１３	2	8	3			A
第２	業務運営の改善及び効率化に関する事項	4		4				A
第３	財務内容の改善に関する事項	1	1					A
第４	その他業務運営に関する重要事項	1		1				A
合計		**１９**	**３**	**１３**	**３**			
（再掲）重点小項目		3	2	1				

４．評価にあたっての意見、指摘等

○　新型コロナウイルス感染症対策について、今後も、本市と連携しながらの対応をお願いする。

○　今後も、黒字収支に向けた経営努力に努めていただきたい。

○　職員の健康と安全に十分配慮し、自律性があり、機動性と透明性の高い組織運営に努めていただきたい。

第２項　項目別評価

（Ⅰ）大項目評価

第１　市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

ⅰ）評価結果　A　中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

評価結果	S 特筆すべき進捗状況	A 計画どおり進んでいる	B おおむね計画どおり進んでいる	C 計画よりやや遅れている	D 大幅に遅れており重大な改善が必要

ⅱ）判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。特に、１－（１）救命救急センターを含む救急医療、１－（４）災害・感染症・その他緊急時の医療の２項目は、さまざまな取り組みを評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断した。また年度計画を上回って実施していると判断した小項目は、１－（２）小児医療、１－（３）周産期医療、２－（１）がんへの対応、３－（１）医療安全対策・感染対策の徹底、３－（２）医療の質の向上、３－（３）患者の視点に立った医療・サービスの提供、４－（１）地域の医療機関との連携推進、４－（３）健康を支える環境整備に向けた行政全般等との連携と協力の８項目である。

次に重点ウエイト小項目である１－（１）救命救急センターを含む救急医療については、「年度計画を大幅に上回って実施している」、２－（１） がんへの対応については、「年度計画を上回って実施している」の評価とした。

これらのことにより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

ⅲ）小項目評価の集計結果

		小項目評価					重点ウエイト小項目
		評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
1 市立病院として担うべき医療	(1)救命救急センターを含む救急医療	○					◎
	(2)小児医療		○				
	(3)周産期医療		○				
	(4)災害・感染症・その他緊急時の医療	○					
	小計	2	2				

		小項目評価					重点ウエイト小項目
		評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
2 生活習慣病への対応	(1)がんへの対応		○				◎
	(2)高度・専門医療の包括的提供			○			
	(3)健康寿命の延伸に向けた予防医療の推進			○			
	小計		1	2			
3 患者に寄り添った信頼される医療の提供	(1)医療安全対策・感染対策の徹底		○				
	(2)医療の質の向上		○				
	(3)患者の視点に立った医療・サービスの提供		○				
	小計		3				
4 地域への貢献	(1)地域の医療機関との連携推進		○				
	(2)医療従事者の育成			○			
	(3)健康を支える環境整備に向けた行政全般等との連携と協力		○				
	小計		2	1			
合　　計		2	8	3			
(構成比率)		100.0%					

第２　業務運営の改善及び効率化に関する事項

ｉ）評価結果　Ａ　中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

評価結果	Ｓ 特筆すべき進捗状況	Ａ 計画どおり進んでいる	Ｂ おおむね計画どおり進んでいる	Ｃ 計画よりやや遅れている	Ｄ 大幅に遅れており重大な改善が必要

ⅱ）判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。年度計画を上回って実施していると判断した小項目は、１－（１）自律性・機動性・透明性の高い組織づくり、１－（２）法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）、１－（３）やりがいを感じ働くことができる職場環境の整備、１－（４）働きやすい病院づくりの４項目である。

これらのことにより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

ⅲ）小項目評価の集計結果

		小項目評価					重点ウエイト小項目
		評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
１ 効率的・効果的な業務運営	(1)自律性・機動性・透明性の高い組織づくり		○				
	(2)法令・行動規範の遵守（コンプライアンス）		○				
	(3)やりがいを感じ働くことができる職場環境の整備		○				
	(4)働きやすい病院づくり		○				
	小計		4				
合　　計			4				
（構成比率）		100.0%					

第３　財務内容の改善に関する事項

ｉ）評価結果　A　中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

評価結果	S 特筆すべき進捗状況	A 計画どおり進んでいる	B おおむね計画どおり進んでいる	C 計画よりやや遅れている	D 大幅に遅れており重大な改善が必要

ⅱ）判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を順調に実施している以上の実施状況という結果であった。特に、1 安定的な経営の維持の小項目は、平成 27 年度の新病院移転以降、目標に掲げていた経営の黒字化を達成したことを評価し、年度計画を大幅に上回って実施していると判断した。

また、この小項目は重点ウエイト小項目であり、その評価は「年度計画を大幅に上回って実施している」とした。

これらのことにより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

ⅲ）小項目評価の集計結果

	小項目評価					重点ウエイト小項目
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
1　安定的な経営の維持	○					◎
小計	1					
合　　計	1					
（構成比率）	100.0%					

第４　その他業務運営に関する重要事項

ⅰ）評価結果　A　中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる

	S	A	B	C	D
評価結果	特筆すべき進捗状況	計画どおり進んでいる	おおむね計画どおり進んでいる	計画よりやや遅れている	大幅に遅れており重大な改善が必要

ⅱ）判断理由及び考慮した事項

全ての小項目の取り組みに対する評価が、年度計画を上回って実施している状況という結果であった。

このことにより評価結果は、「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」とする。

ⅲ）小項目評価の集計結果

	小項目評価					重点ウエイト小項目
	評価5	評価4	評価3	評価2	評価1	
1　環境にやさしい病院運営		○				
小計		1				
合　　計		1				
（構成比率）		100.0%				